



夏休みの作品発表

学校教育目標「夢に向かって 心豊かに たくましく生きる子ども」  
～“自分で考え みんなと創る” 楽しい ふるさとの学校～

## 元気に「“楽笑”な学校」が再スタート



7月20日(火)から約1か月の長い夏休みが終わり、23日から子どもたちのはつらつとした元気な声と、きらきらの笑顔が横堀小学校に戻ってきました。両手に作品や、学習用具を抱えて登校してきましたが、教室で友だちと会うと、その疲れも忘れ、いつものように元気あふれる子どもたちでした。夏休みのがんばりを紹介し合う「夏休み明け集会」を短時間で開催して、教室に戻って表彰と校長の話をさせてもらいました。

次の日は、朝から「除草作業」に汗を流しました。高学年は役割を分担して、手際よく作業が進みました。1年生も、サツマイモの葉っぱと雑草の区別を苦戦しながら、2年生のがんばる姿をまねして、一生懸命に作業に取り組みました。




まだまだ馴染むには時間がかかります。しかも、子どもたちは疲れています。今週は、じわじわと本来の自分のリズムが身に付くように、  
まずは、「早寝早起き」と「歩いて集団登校」を心がけましょう。  
自分から“進んで”「明るいあいさつ」ができるようにしましょう。



夏休み明け集会 校長あいさつ 抜粋(放送室から話しました)  
※始めに、自分のワクチン接種のことと「デルタ株」のまん延状況に触れて、みんなですべての予防対策をさらにレベルアップすることについて話しました。  
長い夏休みが終わって、今日から新しいリズムが始まります。いろんな「CHANGE」「変わること」「変えること」ができます。そのためには、「CHALLENGE」が大事です。  
夏休み、前の方はオリンピックに全集中でしたね。  
予想どおりに勝った人も、まさかの負けになった人たちもいます。全員が「いざ」というチャレンジをして、この大きな舞台上で新しいエネルギーを身に付けたと思います。特に陸上男子400メートルリレーに感動しました。バトンがつかないで感動？ももちろん、つかないところは残念で、「ええっ！」とびっくりしました。1番の選手から2番目の選手のところまでバトンを取ることができませんでした。オリンピック前は、2番目の選手がよくて、乗りに乗っていた二人は、このとき、どんなことを考えたでしょうね。  
それよりも、次に走る3番目の人はどう思ったでしょうね？日本人で初めて9秒台を出した桐生選手はこのリレー一本だけでした。普通は、「何やってるのよおー」と怒る気持ちになります。でも、予選で自分が遅かったから、多田選手と山縣選手にギリギリのバトンパスをやらせてしまったと、自分の走りを反省していました。バトンがつかなくても、この4人の仲間心は今まで以上につなげたんだなあと感動しました。そして、次のオリンピックにもつなげるんだらうなあと思いました。普通のバトンで走れば、バトンはつながりやすいです。でも、高い目標をもってそれにチャレンジすることを選んで、失敗しました。チャレンジしたから、失敗を経験できまじい。この失敗こそ、人間の成長につながります。そのときは、苦しいし、いやな気持ちになったり、はげしい気持ちになります。でも、みんな失敗から成長していきます。人とつながっていきます。  
校長先生は、**横堀小のみなさん103人には、失敗できる人になってほしい**のです。そのためにも、**自分でCHALLENGE**することが大切です。そして、自分たちで学級や学校を変えていく、**みんなでCHANGE**することも必要です。  
コロナの対応をしながら、あと3週間で学習発表会です。「自分で考え」てCHANGEとCHALLENGEする“楽笑”な学習発表会、「みんなと創る」ことを楽しんでいきましょう。  
ますます一人一人の元気な声や、明るい笑顔がはじけるように、自分にもみんなにも楽しい学校を創っていきましょう。

# コロナ対応は、新しいステージへ“CHANGE”

夏休みの間に「デルタ株」が猛威を振るい始めていて、県内でも新規感染数の最高値が「50人」に更新されました。私たちの住む大仙保健所管内でも、以前に比べると年齢層が低くなってきています。学校の再開や感染拡大の心配等、県央部の学校では、今すぐに対応が求められているところも出てきたようです。  
実際、本校にも家族の感染等に関する心配の声や、報告が届いています。県教育委員会からも、8月20日に次のような通知がありました。  
(実際の通知よりも短く、簡単な言葉で表現しています)

- 1 夏休み明けの教育活動について  
(1) 三密を回避し、感染リスクの高い活動は控える  
(2) 部活動については、万全な対策をし、長時間の活動は控える。  
(3) マスクの着用について、改めて指導を徹底すること。
- 2 県外との往来について  
(1) 緊急事態措置地域、まん延防止等重点措置区域等と往来した児童生徒には、帰県してから一定期間(5日間程度)の自宅待機の協力を呼びかける。  
※大仙市では翌日から1週間の自宅待機
- 3 保護者への協力依頼について  
(1) 家庭内における感染防止対策の徹底をお願いする。  
(2) 同居家族に発熱等の症状が見られた場合は、登校を控えるようお願いする。  
(3) 緊急事態措置地域、まん延防止等重点措置区域等と往来した家族がいる場合は、接触を避けるなどの配慮をお願いする。
- 4 陽性者等が発生した場合の対応について  
(1) PCR検査を受けることになった場合は、速やかに情報を把握すると共に、行動歴屋の確認と接触者のリストアップを行う。  
(2) 陽性となった場合は、管轄保健所及び学校医に、臨時休業等の必要性や感染拡大防止対策について助言を求める。  
(3) 臨時休業等については、緊急メール等で連絡する。  
(4) 陽性者及び濃厚接触者の心情に十分配慮し、誹謗・中傷等がないようにする。

この通知をもとにして、**横堀小学校からのお願い**をまとめます。

- 1 夏休み明けの勉強や行事について  
(1) 学校でも、これまでの感染予防対策を、さらに徹底していきます。  
(2) 「三密」や「接触」について、これまでよりも警戒レベルをあげ、再度指導の徹底を図ります。  
・授業中のソーシャルディスタンス ・休み時間の遊び方(非接触)  
・給食の配膳方法や、無言で食べる指導  
(3) 感染予防対策を徹底した上で、学校行事の実施内容や時期を検討します。
- 2 緊急事態措置地域、まん延防止等重点措置区域等との往来について  
(1) 子どもや家族が往来する場合は、必ず事前に学校にお知らせください。  
(2) 子どもや家族が濃厚接触者になった場合、すぐに学校にお知らせください。

私は、危機対応として、最悪を想定し、このように考えています。

**「デルタ株」は、横堀小学校にもやってくる!**

そして、

**来てからでは遅い!!** とも考えています。



夏休み前とは、明らかに状況が変化しています。これらの変化に合わせて、学校としての営みも「CHANGE」しなければなりません。計画している授業や学校行事でも、さまざまな制約や「がまん」をしていかなければなりません。育てたい「資質・能力」や「心」をしっかりと思い描いて、「成長」や「育み」を見失わないようにしていきます。

9月11日(土)	学習発表会
9月30日(木) ~ 10月1日(金)	修学旅行
10月7日(木)	なべっこ&収穫祭
10月8日(金)【前期終業式】	直接引き渡し訓練
10月13日(水)【後期始業式】	
10月16日(土)	運動会&持久走記録会



「これまでどおり」から、新しいやり方へと「CHALLENGE」していきますので、どうかご理解とご協力をよろしくお願いいたします。